

雫石町コミュニティ・スクール通信

雫石町教育委員会 令和3年 9月27日発行

地域学校協働活動

職業学習「虹色コンパス in 雫石中」

9月7日（火）雫石中学校で2年生の職業学習が行われました。今年は感染対策を徹底したうえで、町内を中心とした企業の方に講師として学校においでいただき、30グループに分かれて対話形式で職業について学びました。これは、学校と町政策推進課が中心となり、まちサポ雫石と連携して企業に参加を呼びかけ開催されたものです。

この学習は、生徒が社会人との対話を通じ、働くことの意味や願いを知ることで、「将来について考えるきっかけにする」ことを目的としています。地域で働く人の考えに触れ、郷土の産業の活性化、社会貢献について考えられる大人になって欲しいという願いも込められています。



農業経営 徳田 慎太郎さん

これからはスマート農業の時代。手放し運転が出来るトラクターや、田植え機、農業用ドローンを活用することで、少ない人手で効率よく農業をすることができるんだよ。トラクターだってエアコンが効いているんだよ！



銀サケの養殖 滝沢 清さん

英語を最初から全部覚えようとしなくてもいい。聞き続けているとある時分かるようになる。テストは間違えれば×だけど、会話は間違っても、直して繋げて伝わればいいんだよ。



こかげ英会話 ハクセル 美穂子さん

私はやりたいことをずっとやって生きて来た。生活できるくらいの収入さえあれば、自分の好きなことをやった方が幸せだなんて思って生きてきた。どっちを取るかはその人の生き方だと思うよ。



(株)ルネサンス 佐藤 京太郎さん

たくさんいる社員が自分と同じ熱量で働いてくれるように日々感謝を伝え、コミュニケーションをとるように意識しているよ。



エムズスポーツ 松村 俊介さん

私は、自分が関わる人を幸せにしたいとスポーツトレーナーの仕事を選びました。年をとっても寝たきりにならずに、元気であるためのサポートをしたいと思っている。苦難も乗り越えればいだけと思っているから、つらいと思うことがないんだよ。

御所小学校消防団操法見学会

9月8日（水）御所小学校の校庭で、地元消防団による消防操法が行われました。消防団の活動を知ることにより児童の防災意識を高めるねらいで、地元消防団と学校と一緒に企画しました。当日は雫石分署の方や、町防災課の協力のもと、プールの水を防火水槽に貯め、小型ポンプ操法と、ポンプ車操法の実演が行われました。団員は指令の号令によってホースを伸ばし、機敏に連結させ、火元となる的をめがけて放水を行いました。

いつもとは違う真剣な表情のお父さんたち、カッコいい！



雫石町消防団副団長 米澤 正記さん

将来消防団に加入して、地域の安全を守っていただきたいです。



ポンプ車操法では松本校長先生も団員の方と一緒に操法を行いました。この日のために、夜に集まって練習会を行っただけあって、動きは完璧にそろっていました。3年生の千葉花菜さんは「雨の中大変だったと思うけど、どの人もキビキビ動いていて、すごかったです！」と感想を話してくれました。



児童は操法を見学した後、実際にホースの一番先の部分「筒先」を持たせてもらい放水体験をしました。「思ったより軽い」「楽しい！」と笑顔の体験になりました。

校長先生は「自分が地域の為に何ができるか考えて暮らして欲しい。消防団に限らず、地域のことを考えられる大人になってもらいたいです。」と呼びかけ、この見学会を締めくくりました。

